

<事業所全体による自己評価> R5.12.9実施

おほしさま園

項目	選択した理由	現状分析	解決目標	解決方法	期限	経過
4:療育空間は、新型コロナウイルス等の感染予防を十分に行った上で、清潔で心地よく過ごせる環境になっていますか	・毎日の掃除は丁寧に行っているが限界があり、職員としても問題と感じているため。	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時の対応も低かったが、昨年度と比較すると向上しているため、今後も継続する。 ・厚いマットにしたことで寒くなり怪我の危険も減ったが、削れる、汚れが取れないなど扱いづらさがある。活動でも汚れることが多い。 ・療育中にすぐ掃除を出来ない。利用児への対応を優先する。 ・建物の構造から変えて欲しい。 ・りすのエアコンの効きが悪く、保護者にとっても不快だった。 	不衛生に見えないようにしたい。りすの部屋を快適な温度にしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・りすの部屋の隙間を埋めたい。栗栖さんと相談。 ・今のマットは令和6年度までで買い替える。本当は床を張り替えて、床暖房にして欲しい。建て替えを検討して欲しい。 	1年	
9:お子さまが所属している保育園・幼稚園で障がない子ども達との活動に参加できるような助言がされていますか	昨年度に引き続き取り組んでいく必要があると感じたため。	<ul style="list-style-type: none"> ・摂食の勉強会に園の先生も参加してもらえてとてもよかった。 	定期的な勉強会が出来るような体制づくり、職員育成。	<ul style="list-style-type: none"> ・各園に行って小規模な勉強会をするなど、いちばん星の職員が行えるようにしていきたい。 ・そのためには話す経験や、自分自身が研修を受ける機会が必要。 ・勉強会をして収入になる仕組みをどうすればいいか。助成金。 	1年	
12:保護者様に対して、お子さまの発達の状況を説明し、家庭で継続して取り組んでほしい発達支援に関する助言等が行われていますか	職員としては行ってたつもりだったが、保護者に伝わっておらず、再検討が必要と感じたから。	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めのグループ開始の際に、グループの意味や成長の見通しすることが不足していたため、早急に成果を求められた部分があった。 ・送迎利用児の保護者へのアドバイスが難しい。 ・面談をもっと頻繁にしたい。 ・グループ担当、保護者面談、園訪問を全部リーダーが担当すると負担が大きい。グループ職員で分担できるようにしたいが。 	連絡帳の有効活用、面談時間を作る。ポイントを絞って分かりやすく絞る。	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めにグループの意味、親子療育をすることの意味、見通しを丁寧に伝え、保護者と協力して子どものことを見ていけるような体制を整えたい。 ・各月の行事の制作物をストックしていくことで、利用児への対応の工夫を考える時間や、保護者への説明の時間を作っていく。 ・利用児の現状を把握する為に必要な確認事項リストを作成する。 ・送迎準備の効率化 	1年	